

令和 8 年度 厚生労働科学研究費補助金（三次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	公募要項の記載における改善点 ※一次公募又は二次公募において、採択に至らなかった課題の再公募を行う場合のみ	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	リアルワールドデータを用いた85歳以上の高齢がん患者 に対するがん治療の実態把握に向けた研究(EA-1)	○リアルワールドデータ(DPC、介護DBデータ、院内がん登録等)を用いて後方視的に把握する手法を検討し、 85歳以上の高齢がん患者におけるがん治療の実態を整理する。 ○研究に利用したリアルワールドデータの情報の確からしさを評価し、課題の整理を行う。 ○将来的に、全国がん登録とNDB等との連結解析が可能になることを見据え、連結解析が可能となった場合 に、85歳以上の高齢者のがん医療の実態把握のために実施可能な研究手法を整理する。 ○85歳以上の高齢者に対する病院単位の治療選択の好事例を収集し、ベストプラクティスを整理する。		15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	公募要項の記載における改善点 ※一次公募又は二次公募において、採択に至らなかった課題の再公募を行う場合のみ	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業(FA)	地域等で共食を推進するための実態把握に関する研究 (FA-1)	○文献レビューによる、共食に関する最新のエビデンスの収集・整理 ○文献レビュー及びインタビュー等による共食に関する取組事例の収集・整理 ○上記の結果について、ライフステージごとに情報を整理し、現状の課題の抽出・整理、及び課題の解決に向けた方策等の提言		6,000	1	2
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業(FA)	バイオマーカー等を利用した栄養素等の摂取実態の把握 に向けた研究(FA-2)	○二重標識水法の実施及びバイオマーカーの測定により、エネルギー、栄養素の摂取量等に関する実測データ を収集すること。 ○上記と同じ対象者について、丁寧な食事記録を実施し、食事摂取に関するデータを収集すること。 ○上記の結果を整理し、食事摂取基準、各種診療ガイドライン等の栄養・食生活に関する事項等の更新に資する 提言を行うこと。		15,000	1	3
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業(FA)	循環器病の予防の推進に向けた政策研究(FA-3)	○40歳以上の特定健診受診者を対象とし、以下の事項等を把握する。 ・各健診項目における受診勧奨対象者数及び割合 ・受診勧奨対象者における医療機関受診者数及び割合 ・医療機関受診後のフォローアップ状況(治療開始率、治療継続率、危険因子のコントロール状況等) これらについて、地域別、年齢階級別、保険者別に分析する。(なお、この分析にあたっては、保険者のデータ やレセプトデータ等の活用を検討すること。) ○40歳以上を対象とする特定健診に加え、40歳未満も対象に含める。対象について、生活習慣病に関する健 診及び職場健診等の受診状況及び受診勧奨後の受診状況を調査する。(様々な既存の健診機会における状 況について検討すること。) ○健診受診から医療機関受診、治療開始、継続管理に至るプロセスにおける課題(受診率の地域差、保険者 間の差、年齢差、フォローアップの中断等)を整理する。 ○循環器病の予防の徹底に向けた基礎資料を作成する。生活習慣病に係る健診結果が、適切な受診行動に 繋がっているか、現状を分析し、整理する。		10,000	1	2
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業(FA)	持続可能な脳卒中領域の医療提供体制の確保のための 研究(FA-4)	○脳卒中領域における勤務実態及び医療資源の地域分布に関するデータの収集及び分析を行う。また、病院 機能の層別化や役割分担を踏まえた医療提供体制の把握を行い、地域間の偏在を可視化する。 ○働き方改革の進展による勤務形態等の変化が、手術等の治療実績を含めた医療提供体制に与える影響に ついて、地域分布に関する分析も含めた定量的評価を行う。 ○脳卒中領域におけるICT活用による地域連携・業務効率化の実態を把握し、効果(患者アウトカム、医療資 源の有効活用や医師負担の軽減等への効果)を分析し、好事例を収集する。 ○現状の医療提供体制及び上記の分析を踏まえて、脳卒中診療を担う医療機関に求められる水準を検討し、 地域特性に適合した均てん化・集約化の考え方を整理する。		10,000	1	2
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業(FA)	脳卒中・心臓病等患者の生活再建・社会復帰に資するリ ハビリテーションの実施体制に関する研究(FA-5)	○脳卒中患者と心血管疾患患者の双方に対して、一貫した継続的なリハビリテーションを実施した上で、ADL 改善、自宅退院率向上、再発・重症化による再入院予防、生活の質(QOL)向上、就労等のアウトカムを分析・ 整理する。 ○上記の分析を踏まえ、循環器病患者における急性期から回復期医療機関、かかりつけ医療機関、介護・福 祉機関等の連携による、地域における継続的なリハビリテーションの実態・課題の把握、及び連携体制を整理 する。 ○ADL、自宅退院率、再入院率、生活の質(QOL)、就労、社会復帰等に関する評価を通じた、循環器病患者に 対するリハビリテーションの有効性及び課題を示す資料を作成する。		5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	公募要項の記載における改善点 ※一次公募又は二次公募において、採択に至らなかった課題の再公募を行う場合のみ	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
障害者政策総合研究事業(GC)	高次脳機能障害者の実態把握および適切な診断に寄与するための研究(GC-1)	○既存の統計データ等を用いて、患者の実態把握(潜在的な患者を含む高次脳機能障害者数の推計を含む。)を行う。 ○潜在的な患者及びその家族が医療機関受診を検討するための症状チェックリストを作成する。 ○地域の医療・福祉等従事者が、専門医療機関への紹介を検討するための高次脳機能障害の簡易チェックシートを作成する。 ○上記のチェックリスト・チェックシートの作成に必要な文献やエビデンスの収集・整理を行う。		10,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	公募要項の記載における改善点 ※一次公募又は二次公募において、採択に至らなかった課題の再公募を行う場合のみ	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究 期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業 (IA)	歯科医師臨床研修における効果的な研修コンテンツの開発のための研究(IA-1)	○コンテンツ教材での習得が有用と考えられる、到達目標の目標項目の検討・抽出 ○臨床研修施設において活用可能である、研修歯科医が効果的に知識・技能を身につけることが可能な研修歯科医向けの教材作成 ○指導歯科医を対象としたフォローアップ研修の内容の検討及び見直しに向けた基礎資料作成とその効果の検証 ○指導歯科医がスキルアップできる指導歯科医向け教育コンテンツの開発	一次公募の際に提出のあった本研究課題の研究計画書にて、公募要項内の「採択条件」における、「本課題に関連する業績あるいは知見を有すること」や、「歯科医師臨床研修について精通した者が研究代表者となり、必要な研究が実施できる研究体制が構築されていること」等に関する記載内容が不足していると考えられた。 そのため、本公募の公募要項内の「採択条件」では、研究代表者がプログラム責任者講習会を修了している等、具体的な採択条件を明記した。 また、「求められる成果」では、歯科医師臨床研修を行うすべての臨床研修施設で活用可能とすることを前提とするという、汎用性のある研究課題である必要性を具体的に明記した。	2,850	1	2